

2019 年度 1 学期 2 学年イヨボヤプラン（ミラクルⅡ）

1 学期 「世界一行きたくなる村上のつくりかた」プロジェクトスタート！

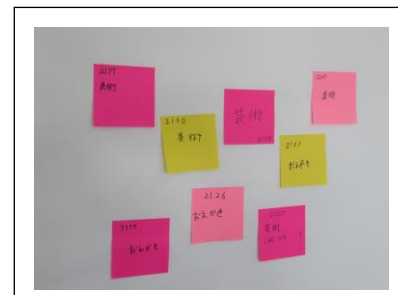
「世界一行きたくなる村上のつくりかた」プロジェクトとは？

私たちが通う村上高校は、歴史と伝統、豊かな自然など、多様な観光資源を持つ村上市にあります。しかし、昨年度の事業所訪問でも分かったように、村上市は人口減少や少子高齢化・観光客の減少・産業の縮小などの問題に直面しています。

村上高校、そして村上市がこれからもその良さを活かしつつ、村上を愛する市民のため、そして未来の村高生たちのために、問題を克服しながら発展していくためにはどうしたらいいのかを考えるため、村上を世界一行きたくなる場所にする方法を提案していきます。

4月 プロジェクトチーム結成

各自「興味のあること・もの」を書き出し、同じような分野に興味・関心を持った人たちでチームを結成しました。



5月 フィールドワーク(情報収集)

1日かけ、自分たちが取材したい事業所を訪問しました。

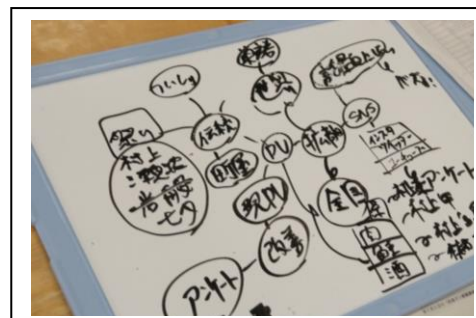
34もの事業所から御協力をいただき、自分たちが関心のある分野を取材することができました。フィールドワークの前には「取材方法ガイダンス」を実施し、地元新聞社の記者さんから質問の仕方や写真撮影の方法などを教えていただきました。



7月① 大学模擬講義

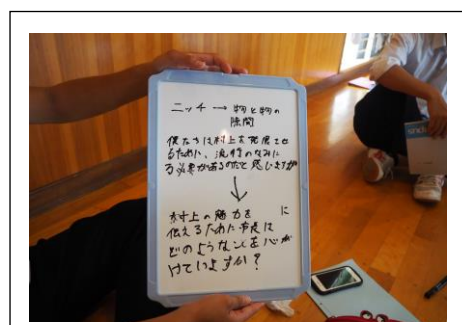
県内私大の先生から講義を受けた後、今後の探究活動に関するアドバイスをいただき、プロジェクトテーマ(問い)の検討を行いました。

講義名
ワークショップで学ぶ地域活性化
多様化を肯定する地域社会の実現を目指して ～リハビリテーションの思想～
大学生によるローカルビジネス協働体験とまちおこし 参画
みんなで新潟観光アンバセダー
地域振興、地域経済にスポーツが果たす役割
情報発信 e ビジネス、農業経営、マーケティング
事例から学ぶ地域活性化の5つのポイント
身近にある実は凄い建築



7月② 村上市長とのふれあいトーク

7月30日には村上市長から市の諸問題をお話しいただくとともに、様々な質問にも丁寧に回答していただきました。ふれあいトークの前にはチームに分かれて「世界一行ってみたい村上」にするための方策を話し合い、市長にお聞きしたいことをピックアップしました。



←「えんたくん」を使って
マインドマップを作成して
います

2学期のイヨボヤプラン

2学期はいよいよ「世界一行きたい村上のつくりかた」を完成させます。11月末に行われる「プロジェクト発表会」へ向けて、収集した情報を整理し、論理立て、スライドにまとめていきます。